

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	過疎対策事業費					
担 当 課 係 名	建設 課		監理 係		作成者	武藤義彦
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	国道や県道、生活道路の整備				
	主要施策	市道の整備				32
予 算 費 目	一般 会計		8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	3 目 道路新設改良費	
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度			新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域住民及び通行車両等
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	現道拡幅改良、改良舗装等を行い道路の安全と利便性を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	測量業務委託、工事発注、工事監督、用地補償物件の交渉を行う。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	道路整備延長	m	483	623	
	成果指標	整備率	%	31	47	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			32,439	34,466	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債		32,000	34,400	
		そ の 他				
		一 般 財 源		439	66	
	人 件 費 (B)		—	5,968	6,134	
		職 員 数	—	0.76	0.8	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	38,407	40,600	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	79,518	65,169	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,204	1,293	

【事務事業の今までの成果】

事業完了及び完成区間の供用開始

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	起債枠の緩和措置
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	早期完成

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	道路改良要望は非常に多く、今後も事業を継続していく必要がある。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	過疎地域に住む市民の交通網の改善のため必要性の高い事業と認識されるが、平成21年度に事業の廃止が予定されており、計画的に事業の推進に努めていただきたい。

一次評価診断図

